

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年も支部活動に、ご理解とご協力くださいますようお願い申し上げます。昨年から年1回支部便りを発行し、会員の皆様に状況をお知らせします。

支部活動の概況

支部総会

去る9月15日(土)月下美人にて、30年度支部総会を開催しました。出席は16名、本会からは宮島八束会長が出席されました。物故者黙祷のあと、校歌斉唱、支部長あいさつの後、

来賓あいさつは 本会会長から同窓会の現況説明があり、

- ① 同窓会の財政が厳しい 原因は 1) 会費納入率の低下 ⇒ 昨年度は、36.31% ここ5年間徐々に減り続けていること。2) 会員数の減少 ⇒ 新入生の減少(入学時に一括10年分を納入)で維持会費の収入減になる。3) 経費の増加 ⇒ 会報の郵送料、銀行手数料の値上げによる。以上から、終身会費だと年額1,000円(計算方法=1,000円×(80-現在の満年齢))でお得とのこと。
- ② ユリノキ会 女性の同窓会員の親睦を図ることと、社会貢献の一環として活動することを目指す会への参加を 等々

議事

- ① 下條支部規約の一部改正で「女性の副支部長1名」の追加を承認。これにより、女性副支部長に丸山浩子さんが選任されました。今後の活躍が期待されます。
- ② 29年度事業報告及び会計報告 ③30年度事業計画と会員数等について④役員改選(裏面)

講演会

総会の後 高13回卒の下條支部監事の牧島光彦氏の講演がありました。(以下概要)

【わが人生を振り返って】と題して 高校時代の1番の思い出は、3年の最後にラクビー部顧問の矢島先生と柔道部・ラクビー部・陸上部の5人と市内の某所でウィスキーを4本空けたこと。大学卒業後、外松へ入社 1か月間ボランティアチェーンの勉強をしたことが印象。

外松に52年間勤務 半生菓子の県外への販路拡大のため、月に25日は家に帰らず妻からも苦情、その時、公益財団法人モラロジー研究所(飯田市内にもある)と出会い、子供・夫婦の問題や会社の業績悪化問題等で教えられた。⇒「宿命は変えられないが、運命は変えられる」と。現在、モラロジーの役職で県内外を飛び回っているが、「道徳」をどう教えるかが問題。

孟子の告子上篇に「天爵を修めて 人爵これに従う」という格言がある。「道徳の実行に基づいて品性を完成することが、人間の幸福実現にとっての根本である」と教えている。(裏面続く)

以上の内容で「自分が変わることによって相手も変わる」とのこと。非常に説得力のある素晴らしい講演でした。牧島光彦様、ありがとうございました。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



牧島光彦さんの講演



平成 30 年支部総会

月下美人

平成 29 年度 会計報告

平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日

| 収入 | | 支出 | |
|--------|--------------|------|-------------------|
| 前年度繰越金 | 118,509 | 役員会費 | 7,150 |
| 支部会費 | 37,000 74 人分 | 事務費 | 3,429 コピー事務用品 |
| 総会会費 | 90,000 18 人分 | 総会費 | 98,000 |
| 本会から | 10,000 総会祝儀 | 通信費 | 6,438 |
| 雑収入 | 0 | 慶弔費 | 592 弔電 |
| | | 雑費 | 7,700 写真代・来賓交通費 |
| 計 | 255,509 | 計 | 123,309 |
| | | 差引残高 | 132,200 円(次年度へ繰越) |

平成 30 年度 事業計画

(太字は重点事業)

- ・役員会 随時
- ・総会案内と会費徴収(担当幹事に依頼)
- ・30 年度支部総会
- ・講演会
- ・**新規会員の募集 (村内居住の同窓会員をお誘いください)**
- ・支部だよりの発行
- ・本会からの寄付要請等対応

支部会員数 ・平成 30 年 9 月 1 日現在 75 名 (前年度 76 名)

・会費納入状況 73 名 (80 歳以上会費免除 2 名)

新支部役員 支部長 河上展勇 副支部長 下嶋一英*丸山浩子 幹事長 亀割國勝

事務局長 宮島俊明 監事 牧島光彦 新井守

幹事 阿知原小松原⇒堀尾伸夫 粒良脇大久保⇒下嶋一英 副 齋藤俊二

山田河内⇒伊藤哲 副 中村昭博 親田⇒*宮島秀志 副 飯島茂勝

北又新中原⇒宮島俊明 副 佐々木学 合原⇒細田剛 副 小林さゆり

入野上野原⇒川上久光 鎮西⇒牧島光彦 副 佐々木隆男

新井⇒村沢栄治 吉岡菅野⇒丸山浩子 * = 新任 (敬称略)